

空耳

昨年はコロナに振り回された1年だった。新年の参詣は日を選び集中を避けて行うようにとテレビなどで伝えられていたが、正月3が日の法華経寺はそれなりの参詣客でにぎわったようだ。

荒行堂では多くの僧が修行に励んでいるはずだが、ひっそりとして何の音も聞こえてこない。前に、この欄で「朝晩太鼓の音が家に聞こえてくる」と書いたが、それは全くの空耳だったようだ。耳元ではいつも音が聞こえてくるような感じがしているが、これは歳のせいかな。静寂の中ではそれが一層激しくなる。

荒行もあとひと月あまり、真冬に向かって修行も一段と厳しさを増していることだろう。隔絶された世界にコロナが侵入しないことを願っている。

2021.01.08 (千葉) HT

